



営農NEWS



ハクサイやレタスの病害虫防除に努めてください

ハクサイやレタス栽培では、9～10月に数度の台風襲来や前線の通過による強風雨などで降雨や曇天の日が続き、病害の発生しやすい圃場環境で経過しています。

病害虫発生予報 11月号（県病害虫防除所）によりますと、11月におけるハクサイ軟腐病の発生量は平年より多く、黒斑細菌病は平年並～やや多く、べと病は平年並と予想されています。また、レタスでは、斑点細菌病が平年より多く、菌核病は平年並の発生量と予想しています。

ハクサイ軟腐病は、強い降雨や風、虫の食害痕、管理作業のときの傷口等から感染しやすく、黒斑細菌病と共に多湿条件のときに発病進展しますので、今後、収穫近くになっても発生には注意が必要で、薬剤防除に努めてください。

レタスの斑点細菌病も多湿の時に発病進展します。また、今後、収穫期近くになって降雨が多くなると、腐敗病が急速に発病進展することがありますので、十分注意してください。さらに、菌核病の発生は、結球期以降から発生が多くなる傾向がありますので、生育の遅れている作型では今後とも予防や発生初期の防除に努めてください。

【病害防除のポイント】

- 1 多湿な圃場環境は病害の発生を助長しますので、圃場排水対策など環境改善に努めてください。
- 2 薬剤散布にあたっては、株元や下葉、葉裏にも薬液が十分かかるよう丁寧に散布することが重要です。
- 3 防除薬剤は、下記を参考に収穫前日数に十分注意して行ってください。

表 1 ハクサイ軟腐病、黒斑細菌病の主な防除薬剤 (令和元年 11 月 1 日現在)

薬剤名	軟腐病	黒斑細菌病	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
スターナ水和剤	○	○	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内	31
ソータルWDG	○		1,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内	14 と 31
アグリマイシン-100	○	○	1,500～3,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内	25 と 41
バリダシン液剤 5	○	○	500 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内	U18
Zボルドー	○	○	500 倍	- / -	M1

注) 各表の分類欄には、FRAC コードを記載しました (コードが 2 つは混合剤)。同一分類 (コード) は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表 2 ハクサイべと病の主な防除薬剤 (令和元年 11 月 1 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
ランマンフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで / 4 回以内	21
プロポーズ顆粒水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	40 と M5
シグナムWDG	1,500～2,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内	7 と 11
ダコニール 1000	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	M5
ホライズンドライフロアブル	2,500～5,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内	11 と 27

表 3 レタス (非結球レタスを除く) 腐敗病、斑点細菌病の主な防除薬剤 (令和元年 11 月 1 日現在)

薬剤名	腐敗病	斑点細菌病	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
スターナ水和剤	○	○	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	31
カセット水和剤	○	○	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	24 と 31
カスミンボルドー	○	○	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 4 回以内	24 と M1
バリダシン液剤 5	○		800 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内	U18
アグレプト水和剤	○		2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内	25

表 4 レタス、非結球レタス 菌核病の主な防除薬剤 (令和元年 11 月 1 日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アフエットフロアブル	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	7
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000～3,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内 収穫 14 日前まで / 3 回以内	11
スミレックス水和剤	○		1,000～2,000 倍	収穫 7 日前まで / 5 回以内	2

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ JA 全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040